

# 在宅人工呼吸器のヒヤリ・ハット等の紹介 (患者さんのご意見も紹介)

平成26年度大阪府薬事審議会  
平成27年2月6日

#### アンケートNo.4.【患者さま・ご家族さまにお尋ねします】

在宅へ移られる時に、人工呼吸器の取扱いで不安を感じられたことがあれば教えてください。

連番	コメント(抜粋)
1	人工呼吸器より、夜間の吸引に不安を感じました。
2	アラームが頻回になる。
3	在宅で実際に起こって見ないと分からないトラブルもあるので、それが不安。
4	日常生活がどう変わるのか予測がつかなかったこと。 入浴やベッド⇒車いすへの移乗、外出など。
5	睡眠中に何かのトラブルで突然呼吸器が停止し、気づかなかつたらと不安に思いました。
6	人工呼吸器の点検等で必ず蘇生バックが必要になりますが、蘇生バックに慣れた関係者が少ない。
7	吸引に関して不安は大きかった。
8	回路が複雑に感じ、2週間ごとの交換が不安であった。
9	在宅へ移る前に説明を受けていたので、不安は感じなかったのですが、実際に在宅になってから、カニューレが誤ってぬけないか心配することもあります。 もう少し強固なものでカニューレを固定する方法はないでしょうか。 今までカニューレが抜ける事例があればそれも記載していただきたいです。
10	退院時に気付かなかつたが、通院時等の持ち運びの実習を受けていないので (看護師にまかせていたため)通院時不安である。
11	深夜にアラームが鳴った時に、介護者に気付いてもらえるかが不安です。
12	回路交換時、呼吸回路の消毒、呼吸回路の亀裂、フローセンサーコネクターの水滴。

**アンケート№5. [ケアマネージャー・ホームヘルパー・看護師の方へお尋ねします]**  
**人工呼吸器を使っている在宅医療で、経験されたヒヤリ・ハットがあれば教えてください。**

番号	コメント(抜粋)	概要等
1	呼吸器の回路の水抜きを家族がしてくれた際、蓋がきちんとしまっておらず、リークした。	ハンドブックにあり
2	ハンドブックにあるように加湿器に水が入っていなかったり、体位変換のときに抜管しそうになることが多々あった。	ハンドブックにあり
3	処置中の体位変換でカニューレが引っ張られる。(3件)	カニューレの問題
4	加湿器の蒸留水の注入忘れ。(5件)	ハンドブックにあり
5	低圧アラームが鳴ったが、原因がわからなかった。患者のご主人が設定を変更していた。(2件)	アラーム
6	回路交換時に、回路が一本不足していた ⇒ 予備で対応。	
7	蛇管の水滴が多く、気管チューブの方に逆流しそうであった。(2件)	ハンドブックにあり
8	電源が抜けていて内部バッテリーで作動していたこと。	ハンドブックにあり
9	アンビューがいつものところになかったこと。	ハンドブックにあり
10	水切りの時に細いチューブ(呼気弁)が抜けて低圧アラームが鳴ったが、すぐには原因がわからなかった。	アラーム
11	コンセントに足をひっかけて抜けてしまっていた。	ハンドブックにあり
12	家事中に呼吸器のアラームの音が聞こえにくかった。	アラーム
13	呼吸回路のトラブル時に原因が不明で緊急に回路交換したが、蘇生バッグをうまく操作できなかった。	蘇生バッグ

**アンケート№5. [ケアマネジャー・ホームヘルパー・看護師の方へお尋ねします]**  
**人工呼吸器を使っての在宅医療で、経験されたヒヤリ・ハットがあれば 教えてください。**

番号	コメント(抜粋)	概要等
14	予備バッテリーのケーブルが断線していた。	定期点検で確認
15	ウォータートラップの排水後、ロックが中途半端になっており、接続ができなくて困った。 (ふた内部のロックを手で解除して接続可能になった。)	ハンドブックにあり
16	気切しているので、声が出なく、接続等外れをアラームが鳴るのですが聞こえず、見つけた時に家族様が慌てられたので、何か良い方法があれば教えてください。	メーカーで工夫例あり
17	日常的によくあるアラーム等に対応できても、経験したことのないアラーム等原因がわからない、又は故障時など業者さんが来るまでも、アンビューで換気を続けること。	アラーム
18	外出や移動介助後、コンセントにさし忘れていた。	ハンドブックにあり
19	呼吸器の突然停止⇒原因不明。	
20	呼吸器の停止⇒機器本体への結露の流れ込み。	
21	患者さんご本人が、介護ベットのギャッジアップの際、ウォータートラップがベッドの柵に挟まり、破損した。	
22	介護者が気づかない間に、電源コンセントが抜け落ちていた、しばらく内部バッテリーで作動し、そのバッテリーが切れそうになった時にアラームが鳴り発覚した。	ハンドブックにあり

## アンケートにより

- \* 患者様やご家族のご意見をお聞きでき、ハンドブックに反映できた。
- \* 在宅でのヒヤリ・ハットを、共有できる場が必要と感じた。

## 最終版ハンドブックの送付と使用について

- \* 最終版は、2000部印刷しました。
- \* 大阪府医療機能情報システムにより、「在宅及び人工呼吸器の管理」を取り組まれている病院（195施設）・診療所（567施設）に2冊ずつ配布させていただきました。
- \* ハンドブックをさらに希望される施設には、送付させていただく。  
(数には限りがあります)

## 大阪府HPヘデータの掲載

- \* <http://www.pref.osaka.lg.jp/yakumu/shokai.html> にデータも掲載しています。